

小麦新品種「さぬきの夢 2000」の育成

本田雄一・太田尊士・三木哲弘・多田伸司

香川県農業試験場研究報告第 55 号(2002 年 3 月) 1-8

1. 「さぬきの夢 2000」は讃岐うどん用の高品質小麦の育成を目標に、1992 年に西海「173 号（後のニシホナミ）を母として、中国 142 号を父として人工交配し、翌年その F1 を用いてメイズ法による半数体育種法で形質の固定を行った。半数体倍加個体より選抜されたもので、2000 年に種苗法に基づく品種登録の出願を行い、2001 年に香川県の奨励品種に採用された。
2. 「平成 9 年度種苗特性分類調査報告書小麦」による特性の分類では、稈長は短、千粒重は小、容積重は中、成熟期は早、耐倒伏性は強、穂発芽性はやや難、収量性は中、ミリングスコアは中、粉の明度はやや高、最高粘度はかなり大、ブレイクダウンは大である。
3. チクゴイズミより出穂期は 2 日、成熟期は 1 日遅い早生品種である。収量性はチクゴイズミよりやや低い、ダイチノミノリ並の多収品種である。子実はやや小さい。耐倒伏性はチクゴイズミより優れる。
4. チクゴイズミに比べ、小麦粉の色調が良く、讃岐うどんのような多加水めんにおいて、めんの色、かたさ、粘弾性の評価が優れ、食味評価が高い。

キーワード：さぬきの夢 2000、小麦、半数体育種法、メイズ法、さぬきうどん